

# 本市の経済施策等について

平成30年7月13日  
仙台市経済局

- 
1. 仙台経済成長デザインについて
  2. これまでの地元企業支援の取り組み
  3. 本市経済を取り巻く環境と課題

# 1. 仙台経済成長デザインについて

復興後を見据えた「新たな経済成長」が必要

量的拡大のみならず  
**質的拡大**も  
重視した成長

東北の中核都市として  
**東北各地**と  
**経済波及効果**を共有

H26.2月

復興後を見据えた仙台市の発展を確実にするため  
「**仙台経済成長デザイン**」を策定

## 4つの数値目標

平成29年までに  
新規開業率  
**日本一**

平成29年までに  
年間観光客入込数  
**2,300万人**

平成25年～平成29年  
までに  
累積新規雇用  
**10万人**

平成29年までに  
年間農業販売額  
**100億円**

## 9つの戦略プロジェクト

チャレンジ  
中小企業

スタートアップ  
・センダイ

ウエルカム！  
仙台・東北

ウーマノミクス

インベスト・  
センダイ

テクノロジー都市・  
仙台

クール・センダイ

仙台農業・  
地域創造産業化

まちづくり  
駆動型  
ビジネス

# 2. これまでの地元企業支援の取り組み

## 商品開発・新事業展開

- ・御用聞き型企業訪問
- ・ものづくり中小企業製品開発補助金
- ・クラウドファンディング活用支援
- ・外部人材活用による新事業創出
- ・デザイン活用による高付加価値化



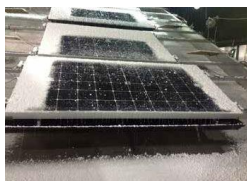
御用聞き型企業訪問の様子



デザイン活用で生まれ変わった製品

## 国内販路開拓

- ・新東北みやげコンテスト
- ・首都圏等展示商談会への販路開拓支援
- ・首都圏バイヤー訪問型販路開拓事業
- ・都市間連携販路開拓事業
- ・地域ブランド構築事業



販路開拓を支援した製品



新東北みやげコンテスト

## 海外販路開拓

- ・輸出入チャレンジ支援助成金
- ・タイ-仙台経済交流サポートデスク
- ・展示会出展支援(FOODEX等)
- ・福祉機器等アジアビジネス展開支援
- ・フィンランドをゲートウェイとしたEUとの輸出入支援



輸出支援をしている製品



タイ・メディカルフェアの様子

## 人材の確保・育成

### 中核人材の育成

- ・イノベーション人材育成事業
- ・先輩経営者による次世代経営者育成

### 地元企業人材確保

- ・地元中小企業の魅力発信事業
- ・UJターン就職の促進
- ・仙台四方よし企業大賞



仙台「四方よし」企業大賞  
Sendai "Shihoyoshi" Corporate Award



学生が地元企業の魅力を発信

## 経営支援全般

- ・経営相談、セミナー等の開催
- ・事業承継支援(後継者育成スクール)
- ・中小企業融資制度



マーケティングセミナー



事業承継ナビ

## 商店街振興

- ・中心部商店街活性化促進事業
- ・商店街イベント助成
- ・商店街基盤整備事業 (ハード整備支援)
- ・商店街の集客力向上事業



アーケードフラッグ



助成金を活用したイベント

# 3. 本市経済を取り巻く環境と課題

## 世界の動向と日本の立ち位置

- ICT技術の爆発的な普及・社会実装が急速に進行。
- 経済のグローバル化に伴う都市間競争の激化、一部の国や企業に資金が集中。
- 日本は世界に先駆けて人口減少社会に直面し、複雑化する社会的・地域的な課題を抱えた「課題先進国」。
- 先進国の中でも労働生産性が低く、このままでは持続的な成長も困難な状況に陥る。

## 国の経済施策の方向性

### ◆ 未来投資戦略2018

2020年までの3年間に生産性革命の集中期間と定め、先端技術をあらゆるものに取り入れ、誰もが快適で質の高い生活ができる「Society5.0」社会の実現を目指す。

### ◆ SDGs（持続可能な開発目標）

経済成長と社会的課題の解決を両立することが企業にも求められることを、経団連の「企業行動憲章」にも具体的に記載。

## 本市経済の特徴と課題

- 東北の支えで成り立つ本市の経済構造
- 東北は全国で最も人口減少・高齢化が深刻
- 人口減少に加え、震災を機に社会的・地域的課題も多様化し、東北は日本の中でも「課題先進地」
- 支店が多く、市内に本店を置く上場企業が少ない
- 人材の首都圏等への流出が顕著



## 本市が持つポテンシャル

- 東北の中核都市としての機能
- 都市機能（交通網・情報インフラ等）の充実
- 東北中から集まる人材
- 起業・創業のすそ野の拡大
- 震災をきっかけに、課題解決志向の起業家や企業が東北へ集積
- 国家戦略特区の指定
- 東北大学を中心にした活発な産学官連携
- フィンランド、タイとの長年培ったネットワーク
- IT企業の誘致が好調、IT関連産業の集積が加速

## 本市の目指す方向性

### ➤ 地元企業・産業の競争力強化

→ 企業間連携、域外展開の促進、労働生産性の向上

### ➤ 経済成長と社会的課題解決の両立

→ 社会課題をビジネスチャンスに変える事業創造の促進

### ➤ 東北全体の持続的な発展への貢献

→ 東北全体との連携・協業・経済効果の波及